

## ぎふ農業・農村を支える人材育成

### ■新規就農者 揖斐地域就農支援協議会主催リーダー研修

揖斐地域就農支援協議会は5月30日に新規就農研修生及び就農間もない農業者を対象に、農業に取り組む上で必要な基礎知識や技術を習得するための研修会を開催した。

研修会には9名が参加し、地域農業の特徴と施策、就農時の心構え等について講義を行い、その後、全員で意見交換を行った。

経営品目、年齢も異なるが、就農間もない農業者同士で現状や課題を共有することができた。

新規就農者は、計画通りの経営ができていない場合が多く、個別に課題を整理しながら就農支援協議会で伴走支援を行う。



【研修会の様子】

### ■夏秋なす 第2回帰農塾開催

6月24日に、いび川夏秋なす生産組合、JAいび川、揖斐農林事務所共催で「第2回夏秋なす帰農塾」を開催し、塾生6名が参加した。夏秋なすは、露地で栽培ができ導入経費が比較的少ないことから取り組みやすい作目として地域の推進品目となっている。

農業普及課からは、室内で収穫や病害虫防除について講義を行い、現地ほ場では、なす部会員指導の下、収穫作業の指導を行った。

これらの取り組みを通して、新規栽培者の確保と生産者の単収向上を目指し、産地の拡大へつなげていく。



【現地研修の様子】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■水稻 ジャンボタニシクリーン作戦を実施

6月20日に、大野町牛洞地域で、田植え直後の水稻苗を食害するジャンボタニシを駆除する「ジャンボタニシクリーン作戦」を生産者、大野町、JAいび川と県が協力して実施した。当日は、農業経営課から防除対策を説明した後、ドローンによる農薬散布の実演と、参加者で水路の成員と卵塊の除去を行った。

今後も暖冬により越冬したジャンボタニシが繁殖して被害が増えることが懸念されるため、今回の対策活動の成果も踏まえ、発生地域の被害を減らし、被害地域を拡げないための対策の普及活動を行っていく。



【開催あいさつ】

### ■フランネルフラワー 春の出荷終盤のほ場巡回

揖斐地域では、フランネルフラワーの春出荷及び秋出荷を行っている。6月2日に秋出荷に向け、農業技術センター、農業経営課、農業普及課によるほ場巡回、生育状況の確認を行った。

夏場は花軸が短くなるため、秋の需要期に向けて、充実した花が出荷できるよう枝・芽の整理を助言、指導した。

秋出荷は9月から12月末までとなるため、農業普及課では生産拡大、品質向上に向け支援していく。



【現地巡回の様子】

## ■茶 二番茶共販会の開催

6月20日に、全農岐阜美濃茶流通センターにおいて、二番茶共販会が行われた。

今年の茶の生育は春先からの高温で前進しており、二番茶の摘採時期も池田町では6月8日、揖斐川町では6月19日から始まり、7月上中旬まで続く。

共販会では、約8tの茶が出荷され、品質は概ね良好であった。

今後は、夏場の高温時に作業が続くため、農業普及課では労働安全等についても支援を行っていく。



【二番茶共販会の様子】

## ■茶 岐阜県議会農林委員会 ～（農）桂茶生産組合を視察～

5月26日に、県議会農林委員会委員6名が揖斐川町の（農）桂茶生産組合と同組合の茶販売を行う（株）いび茶の里を視察した。

同組合役員から、県内で初めて取得した認証GAPや、利用集積による営農部門の取り組み等の報告を受けた。また、県の事業を活用し導入した化石燃料を削減できる省エネ型の粗揉機の説明と意見交換を行った。

委員からは、温暖化や鳥獣害等への対応状況や燃油肥料等の高騰に関する質問も多く、関心が高かった。

農業普及課では、環境変化に対応した適期防除と適期摘採による経営安定を支援していく。



【農林委員への説明】

## ■柿 摘果講習会が開催される

6月25日に、大野町かき振興会主催の摘果講習会が町内6カ所で開催され、会員約300人が出席した。

講習会では大玉で高品質な柿を生産するため、技術部会と農業普及課から、現在の柿の生育状況や病害虫の発生状況等について情報提供し、適正な着果数確保に向けた摘果時期や方法について指導を行った。

特に今年は着果量は多いが、生理落果が発生しているため、摘果作業は生理落果の終わりを確認するよう、農業普及課から注意喚起した。



【講習会の様子】

## 中山間地域を守り育てる対策

### ■揖斐地域特産農産物 徳山なんば振興協議会設立

6月2日に、道の駅ほしのふる里ふじはしで、個人会員2名、グループ会員2組の参画で徳山なんば振興協議会が設立された。

協議会は、揖斐川町の地域資源である「徳山なんば」を守ると共に経済的価値を向上させ、地域ブランドの確立をめざす。

現在揖斐特別支援学校、揖斐高等学校と連携し生産、販売研究も実施しており、今後も活動を強化する計画である。農業普及課では、町と連携しブランド化に向けた支援を行っていく。



【設立総会の様子】